

西東京市新型コロナウイルス感染症に対する対応・取組

～新たな感染期において、基本的な感染拡大防止対策の徹底を～

令和2年8月



西東京市

新型コロナウイルス感染症に対する西東京市の取組

～新たな感染期において、基本的な感染拡大防止対策の徹底を～

「人」のいのち・健康を守る

- 引き続き、市内医療機関と連携した体制づくりに努めます。
- 正確な情報の発信に努め、東京都（保健所）に対し、可能な限りにおいて、必要な情報の提供を今後も求めていきます。
- 新型コロナウイルス感染症に関連した感染者・濃厚接触者、医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別をなくし、冷静な行動を促します。



「まち」を健康に 日常を取り戻す

- 基本的な感染対策（3密・換気・マスク・手洗い・消毒）の徹底を図ります。
- 市の委託事業者等の事業継続を支援します。
- 感染拡大に最大限の注意を払いつつ、市内事業活動を支援するため、経営革新や消費喚起等を促します。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称 COCOA）の普及・啓発を図ります。

東京都 専門家によるモニタリングコメント・意見 抜粋〈感染状況〉

- ✓ **全年齢層に感染が拡大**しつつある（40歳以上の陽性者数が増加）。
- ✓ 新規陽性者数は、**20代**が全体の**38.3%**、**30代**が**24.8%**である。
- ✓ 濃厚接触者に占める感染経路としては、「同居人」からの割合が**29.1%**、「会食」が**16.7%**であった（8月4日から10日まで）
- ✓ 感染経路が多岐にわたっているのは、**無症状**や**症状に乏しい感染者の行動に影響**を受けている可能性がある。
- ✓ 小人数であっても、密に接触する環境で、**マスクを外し、会話をしながら飲食**を行うと、感染リスクが高まる。
- ✓ グループ旅行に陽性者が含まれていて同行者等に感染が広がる事例が複数発生

令和2年8月13日 開催

出典 第6回東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料から一部引用

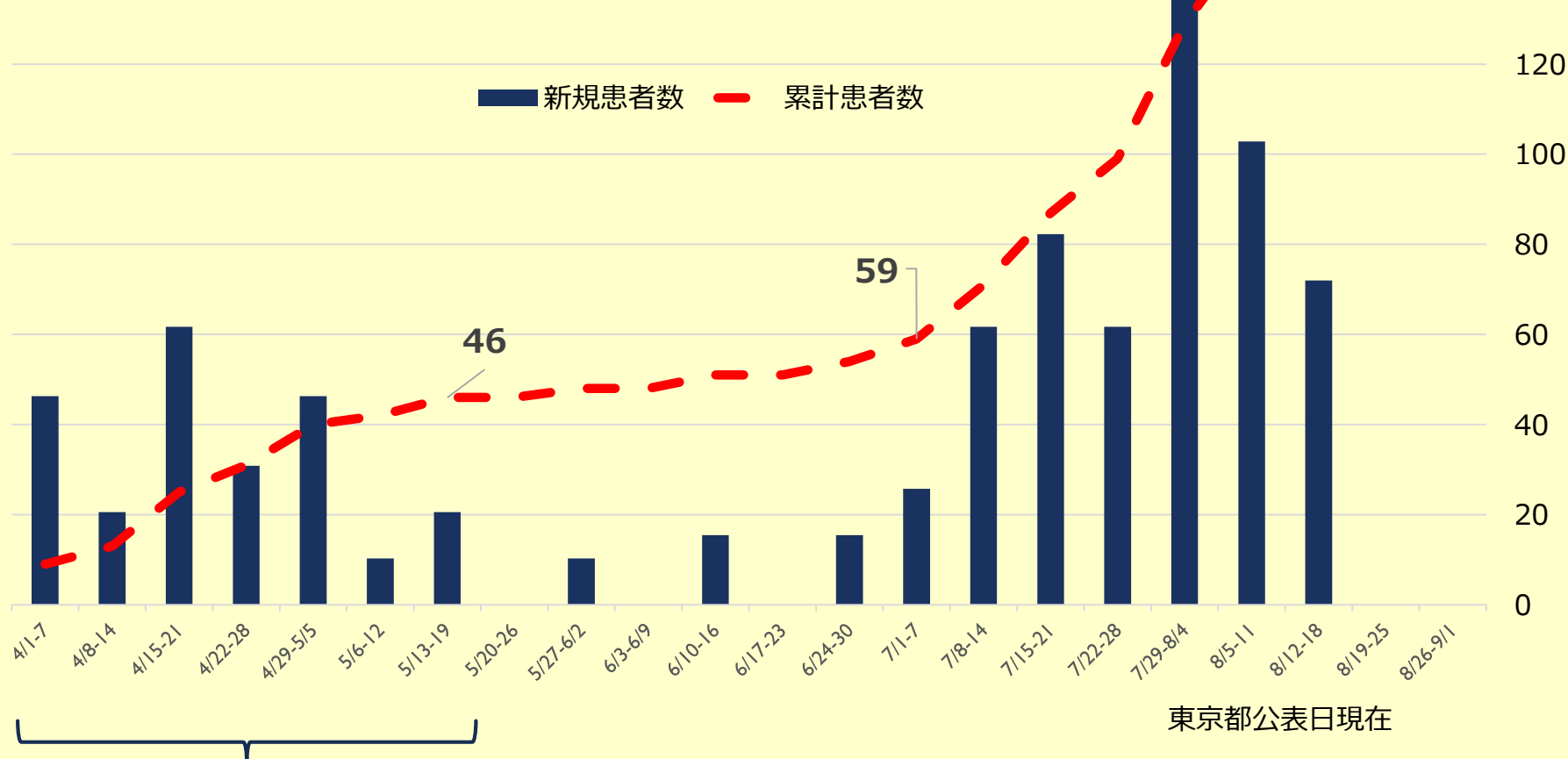
新型コロナウイルス感染症患者数（西東京市）

令和2年8月18日 東京都公表日現在

(人)

市内累計患者数	入院・療養中	新規患者	退院等※
163人	34人	0人	129人

※宿泊・自宅療養終了、死亡、感染症病棟以外への転院、転科の累計数



東京都公表日現在

緊急事態宣言期間（4月7日～5月25日）

～新たな感染期における 今後の市の取組み～

補正予算（6号）のポイント

- ✓ 国からの地方創生臨時交付金を最大限活用し、「新たな生活様式」への対応、「事業継続支援」を中心に、本市の実情に合わせた取組を展開します。
- ✓ 感染期において発生する大雨による水害や大型台風に備え、避難行動の伝達強化や感染症対策を踏まえた避難所機能の充実を図り、災害に備えます。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の早期収束を目指し、西東京市医師会が運営する発熱外来への支援を継続し、令和3年3月まで運営費用を補助します。
- ✓ コロナ禍における生活習慣の変化により生じる健康不安を解消し、「新しい生活様式」の中で行う健康づくりを支援するほか、「子供の食の確保」の視点から、子ども食堂等への支援や、食支援を通じた子どもの見守りを強化します。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立は、大変厳しい状況にありますが、そのような中で創意工夫に取り組む市内事業者を支援するとともに、事業者を応援できる機会を創出します。

西東京市の新たな取組・支援策

～ 人の「いのち」と「健康」を守ります ～

西東京市医師会発熱外来への運営支援を延長（令和3年3月31日まで）

予算額 1,875万円

7月31日 補正予算（6号）可決

新型コロナウイルス感染症の医療体制に対応するため、医師会が運営する
発熱外来への支援を令和3年3月まで延長します



・西東京市医師会と連携し、市内病院内に開設した発熱外来事業を支援

1 日当たり、10人前後の受入れを行っています（完全予約制）。

1 開設場所 武蔵野徳洲会病院 内

2 診療時間 平日（祝日、年末年始を除く。） 午後1時から3時まで

3 運営体制 西東京市医師会に属する医師等

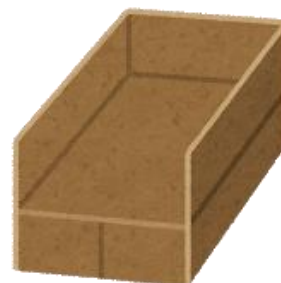
4 運営期間 令和2年4月28日（火曜日）から**令和3年3月31日**（水曜日）まで

西東京市の新たな取組・支援策 ～コロナ禍における災害・感染対策の強化～

7月31日 補正予算（6号）可決

◆ 災害備蓄品等の購入 予算額 **1,994万円**

感染症の流行期に対応した災害時の避難対応等を図るため、市立小中学校の指定避難所に段ボールベッドをはじめ、感染対策用備品等を購入します。

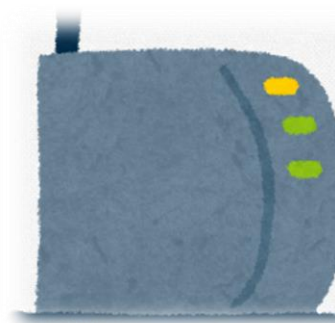


◆ 防災行政無線戸別受信機の配備 予算額 1億3,149万円

7月31日 補正予算（6号）可決

防災・防犯に関するお知らせを防災行政無線にて放送する際に、同時に屋内で受信できる戸別受信機を対象の方々に貸与します（1万台）。

対象者は、**避難行動要支援者及び災害時要援護者**で、戸別受信機の貸与を希望される方とします。



※「**避難行動要支援者**」とは、災害時に自ら避難することが困難な方であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する高齢者、障害者等の方々です。

※「**災害時要援護者**」とは大地震などの災害が発生したとき、避難情報を得ることが困難な方、自力での避難や家族の支援だけで避難することが困難なの方々です。

西東京市の新たな取組・支援策

～市内事業者に対する更なる支援～

5,000円を支払うと、
8,500円分のサービス
が利用できます

11月から実施予定

◆ 一店逸品事業等市内消費喚起イベント 予算額 **2,430万円**

(事業費総額 2,550万円)

7月31日 補正予算(6号) 可決

西東京市が実施する一店逸品事業の認定店のほか、本事業に参加する市内事業者(飲食店等)の店舗で利用できるプレミアム付きチケットを1口 5,000円で販売(2,000円分のプレミアム付き。販売予定枚数 5,000枚)。

なお、チケット購入者には、飲食店以外で使える1,500円分のクーポン券が付きます。



5,000円を支払うと…



7,000円分の飲食チケット



1,500円分のクーポン券

西東京市の新たな取組・支援策

1グループ最大 **100万円**の補助

～コロナ禍における、新たなビジネスモデルを支援します～

📅 募集期間 令和2年9月から10月末日まで（予定）

◆ 新たなビジネスモデル・経営革新チャレンジ支援補助事業 予算額 **3,396万円**

7月31日 補正予算（6号）可決

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者の事業継続・地域経済の活性化への取組みを応援します。

市内事業者がグループ（3事業者以上による構成）となり、「新しい生活様式」に対応した「感染症拡大防止対策」や、コロナ禍における、新たな販路拡大や、新サービスの展開について、事業提案を公募し、採用されたグループに対し、上限100万円を補助します。

**テイクアウト
できます**
TAKE-AWAY
AVAILABLE



西東京市の新たな取組・支援策

～日々の生活を支えるライフライン委託事業者を支援します～

◆ 清掃事業者運営補助事業 予算額 920万円

7月31日 補正予算（6号）可決

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、在宅勤務等の機会が増大したことで、各家庭からのごみの排出量が増加しています。

そのような状況下において清掃作業従事中における感染リスクもある中で、事業継続を図る事業者への支援を目的に、事業運営に係る経費を補助します。

委託事業者（9事業者）に対し、従業員数に応じて算出した経費を交付します。



西東京市の新たな取組・支援策

～コロナ禍での粗大ごみ増加 収集期間の短縮に努めます～

◆ 粗大ごみ収集運搬業務（臨時委託） 予算額 **636万円**

7月31日 補正予算（6号）可決

外出の自粛や在宅勤務等の機会が増大したことで、各家庭から排出される粗大ごみの量が増加しており、収集までに時間を要しております。

粗大ごみの収集量は、昨年同時期と比較して倍以上の収集量となっています。

市では、今後2か月間の臨時期間において、通常の収集に加え、新たに粗大ごみの収集運搬に関する委託業務を追加して、早期の収集に努めます。

